今回の発見！

里山散策コース

歴史と緑あふれる散歩道

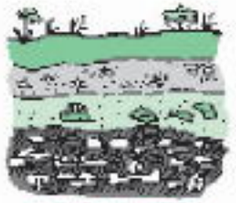
茅ケ崎里山公園がある市内北部一帯は、かつてたくさんの谷戸（丘陵で三方を囲まれた小さな谷間）があり、「九十九谷戸」と呼ばれていました。

今回紹介する里山散策コースは、そのような昔の趣を残す田園地帯や雑木林の中を通り、たくさんの自然を感じることができます。また、腰掛神社やいろいろな石仏といった、多くの歴史財産がわたしたちを迎えてくれます。

【生涯学習課文化財保護担当】

ギャーギばあさん石像

風邪でのどが痛い時など、線香を供えたり、触れたりすると治るといわれた（観音堂そば）。



久保山貝塚

縄文時代後期（約3,500年前）の貝塚。

お江戸道

里山公園メインエントランスの脇から藤沢市打戻へと続く道。その昔、江戸へ向かうために利用されていた道で、東海道を使うよりも2里（約8キロ）ほど近かった。二十三夜塔や庚申塔が途中にある。

腰掛神社

伝説では日本武尊が東征の時、この地で石に腰掛けて休んだとか。大木のシイ、スギ、イチョウなどの樹叢は市天然記念物。

ギャラリー＆喫茶店

来迎寺

連妙寺

観音堂

観光農園

田園地帯

まさしくトトロの世界！美しいアマサギ（夏鳥）が見られることも。

観光農園

芹沢配水池

茅ケ崎里山公園

人と自然の共生をイメージした公園で、13年一部開園、20年完成予定。面のすべり台あり

金山神社

行谷の氏神様。五基ある庚申塔のうち承応4年（1655）に造られた物は、市指定重要文化財。

宝蔵寺

明治6年（1873）、小出小学校のルーツである「時習学舎」が設けられた。あじさい寺としても有名。

県道藤沢・平塚線

芹沢入口

文教大学

文教大学

図書館入り口に、約3,500年前の遺跡資料を展示。文教定食は350円。

散策コース

お江戸道

バス停

※都市資源の一部を紹介しています。